

学校だより
第59号



文責
校長 都々木

『夢』

古い資料をめぐっていたら、以前関わった子どもたちが創作した標語を見つけました。私自身と照らし合わせながら、「夢」について語ってみたいと思います。

『うれしいよ夢や希望があるだけ』(良)

小学生の頃の夢は寿司屋さん。理由は母の好物だったから。中学校では航空整備士か競輪選手。実際に航空整備科があつて、なおかつ、自転車競技部のある私立高校も受験しました。NBAのプロ選手にも憧れました。

『壁めたり乗り越え進む夢への道』(瞭)

「教師になりたい」と考えるようになったのは高校生になってから。高1の担任の先生に憧れたからです。第1志望の大学に合格するには、ほんの少しだけ？学力が足りず不合格。浪人する余裕もなく第2志望に進学。

『夢や希望あきらめなければ実を結ぶ』(康)

大学4年から教員採用試験を受験し始めましたが不合格。臨時教員をしながら二六歳でやっと採用。『天にも昇る気持ち』というのは、こういうことなのだと分かりました。

『夢や希望持ってる人は捨てないで』(勝)

実は、今も他人には絶対に言うことのない『夢』があります。実現のための努力をしている訳でもありません。漠然と「できたらいいなあ」と思っているだけです。

大人は、色んな夢をあきらめてきた自分の経験から「現実を見なさい」とか、「無理」と言ってしまうことがあるようです。詩人の伊藤比呂美氏は次のように言っています。

「身を挺して子を守り、見返りを要求せず子を可愛がり、子どもにスネをかじらせて、出て行く子は送り出し、とどまる子はそのまま受け入れる。これが『親の本分』だ。」

令和2年度合唱コンクール



- 『最優秀賞』
 - ・一年一組
 - ・二年四組
 - ・三年二組
 - 『優秀賞』
 - ・一年三組
 - ・二年一組
 - ・三年四組
 - 『指揮者賞』
 - 一年尾崎 紫乃さん
 - 二年中山 悠翔さん
 - 三年竹下えんやさん
- ※写真は三年二組



行事予定

- 一(日) ロボコン県大会(十一名出場)
- 二(月) 3年生三者面談開始
- 三(火) 文化の日
- 四(水) 部活動停止(〜十一日)
- 五(木) 県中学校駅伝競走大会(男女出場)
- 六(金) 生徒会役員選挙告示
- 七(土) バドミントン市新人大会
- 八(日) 生徒集会
- 九(火) 期末テスト(〜十二日)
- 一〇(水) 朝日拝観歩行
- 一一(木) 家庭の日
- 一二(金) 福江中キャリア教育研究発表会
- 一三(土) 勤労感謝の日
- 一四(日) 3年薬物乱用防止教室

1年生のレベルの高さに驚かされ、やはり2年生だけのことはあると納得し、うーん、さすが！とうならせられた3年生。下級生にはもちろん、多くの保護者様、地域の皆様にも聴いてもらいたかった「歌声の響き」でした。

（雑感） 3年生が人生初の進路決定の時期を迎えようとしているが、決して『人生の決定』ではない。そもそも、人生を決定する瞬間というものが、あるのかさえ疑問である。生きていく限り、何が災いし幸いするかなど分かるはずもない▼よく「どんな経験も無駄にはならない」とも言うが、これも疑問だ。経験をプラスにするのもマイナスにするのも自分次第で、無駄(というよりマイナス)にしてしまうこともあるのでは無いだろうか▼「選択理論」というものがある。キアヌ・リーブス主演の映画『マトリックス』の隠しテーマであると信じているが、自分に関わるすべての結果は自身自身の選択に帰結するというのだと理解している。誰に反対されようと、最後に決めたのは自分。あきらめたのも自分。誰かの言うがままになつたとしても、選択したのは自分▼厳しいようだが、そう考えることが出来るようになった時、ようやく人生は自分自身のものになる。生きるということは「選択」することとも言える。自分の選択を正解にする努力を忘れてはならない▼最後に高校時代の恩師の言葉を紹介します。

「何時間、何日、何ヶ月悩もうとせよ、決めるのは一瞬だよ。」

「子どもに伝えたい『いい言葉』」

「のぞみはありませんが
ひかりはあります」
JR 駅員

ある人が新幹線の切符を買おうとして駅員に言われた言葉。思わず、同じ言葉を大声で返すと、「あつ、『こだま』が帰ってきました」とつぶやいたというオチまでついています。希望をなくしても神様の光はずっと人を照らしている、と気付いたそうです。